

みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの取組状況について

1 実施を計画する事業の取組状況について

みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに位置づけられた具体的な取組のうち、策定段階で実施を計画し、事業を実施している全 46 事業及び新規に位置づけられた 4 事業について、成果指標の現状値を示したものの。

2 取組状況の概要…資料 1－2

(1) 戦略 1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

施策	事業数
ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定，国の成長戦略実施のための体制整備	2
イ 産業クラスターの形成，イノベーション実現，新規創業支援，地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	4
ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	6
エ 戦略的な観光施策	7
戦略 1 計	19

・ものづくり人材育成事業 (No. 1) は、連携に向けての協議が整ったことから、平成 30 年度に事業を実施する見込みとなった。

・盛岡広域まるごとフェア (No. 7) は、農業まつりを併催したこと及び会場で希望郷いわて国体のパブリックビューイングを実施したことから、目標値を超えた成果につながった。

・盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信 (No. 11) は、平成 29 年度に盛岡市が単独で実施した事業について、広域で連携して実施する協議が整ったことから、平成 30 年度に事業を実施する見込みとなった。

・国際観光客誘致促進事業 (No. 14) やいわて・盛岡広域観光センター運営支援事業 (No. 18) については、個人旅行者の全国的な増加に伴い、順調に推移している。

・スポーツツーリズム推進事業 (No. 20) では、2020 年東京オリンピックに向けて、カナダの水球代表チームや 7 人制ラグビー代表チームの事前キャンプ誘致決定などが決定している。

(2) 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

施策	事業数
ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	1
戦略2 計	1

・盛岡バスセンター再整備調査支援事業(No. 21)として30年度以降も広域連携に向けた協議・検討を行うこととしている。

(3) 戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

分野	施策	事業数
ア 生活機能の強化に係る政策分野	(ア) 地域医療	3
	(イ) 介護	2
	(ウ) 福祉	3
	(エ) 教育・文化・スポーツ	5
	(オ) 地域振興	2
	(カ) 災害対策	3
	(キ) 環境	1
	分野ア 小計	19
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア) 道路等の交通インフラの整備・維持	2
	(イ) 地域内外の住民との交流・移住促進	1 + 3
	(ウ) 上記に掲げる者のほか、結びつきやネットワークの強化に係る分野	1 + 1
	分野イ 小計	8
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	(ア) 人材の育成	1
	(イ) 圏域内市町の職員等の交流	2
	分野ウ 小計	3
戦略3 小計		30

・地域医療，介護及び福祉の施策については，既存のネットワークを軸に事業を展開している。

・日本遺産認定推進事業(No. 33)では，市と矢巾町の連携のみならず，広域的な取組を見据え，引き続き志波城や徳丹城跡などの古代城柵について，文化庁の日本遺産認定を目指す。

・県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想支援事業(No. 40)は，業務委託により，新ごみ処理施設の整備候補地を決定するための住民等説明会開催支援を行ったほか，新しい組織設立に向けた会議支援等を実施した。

・幹線道路整備事業（津志田白沢線 No. 41）・（市道谷地頭線（厨川工区）No. 42）では，ともに 32 年度の工事实施に向け，測量設計や建物移転補償を実施している。

・圏域内市町の職員の交流(No. 46)では，広域各市町が実施する職員研修に他市町の職員も参加することで，相互の交流と人材育成を推進している。